

第1期江差町まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括検証に係る検証委員意見に対する回答書

令和元年9月

江差町総合戦略検証委員会

委員長 古地 順一郎 様

江差町長 照井 誉之介（公印省略）

第1期江差町まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括検証（成果調査）に関していただきました御意見について、下記のとおり回答致します。

記

1 事業の取組状況・課題・今後の展望等、KPIの達成状況等について

【基本目標① 江差ブランド製品づくりで仕事をつくる】

〔具体的な施策：①江差ブランド製品づくり〕

■主な取組名：6次産業化の取組推進・異業種間交流の促進・江差ブランド製品の開発・アンテナショップ等の充実・ふるさと納税特典品の充実・販売PRの強化

事業 No.	事業名	委員名 (敬称略)	意見・要望・質問等	町の回答等
1	一×二×三業 懇話会の開催	古地	■H29 ①新たに開発したスナップエンドウ入りパンの評判や売上高が分かると成果がイメージしやすいと思いますがいかがでしょうか。 ②産業まつりで新米を販売されたようですが、お客さんの反応や売上高はわかりますか。 ■H31 ③見込で、農林水産物や加工品の販売方式について実践とありますが、どのような実践を具体的に考えておられますか。	【産業振興課】 ①H29年7月の土日限定として、1個160円で160個ほどを販売しました。売り上げは上々だったと伺っております。 ②産業まつりでの江差産米の販売は、「えさし水土里の会」が実施しています。出店者の好意により安価（3,000円/10kg、1,500円/5kg）で販売していることや、地元の新米ということもあり、販売開始直後に売り切れるほど大変好評です。なお、正確な販売数量については把握しておりません。 ③まだ手法が具体化してはいないため、今後開催される懇話会の中で、地産地消を目指した販売方法をメンバーで検討してまいります。
		庄司	◎非常に大切な事業。ただ、一般の町民、町外の方々にもっと知ってもらわなければならない。	【産業振興課】 ◎今後も実施する事業が決まりしだい、町広報紙や報道機関等へ広く情報提供し、周知に努めてまいります。

事業 No.	事業名	委員名 (敬称略)	意見・要望・質問等	町の回答等
		田畑	◎若手参加者の募集をピンポイントで集めてみてはどうでしょうか。	【産業振興課】 ◎課内において、農林水産、商工担当者が、その分野で活躍されている若手の方々を推薦し、集まっていただき懇話会を開催しています。
2	江差町まちづくり推進交付金創設（地域ブランド開発等支援）	古地	◎新商品やパッケージなどが開発されているようですが、委員を含めた町民に対して、写真などで可視化してあげると成果をイメージしやすいと思います。	【まちづくり推進課】 ◎R1年5月号及び8月号広報紙で、まちづくり推進交付金の制度について周知しました。その際に活用事例として写真を掲載しました。今後は、成果をさらにイメージできるように、写真等で可視化につなげてまいります。
		庄司	◎理念は素晴らしいが、どれもマニアック？単年単発？知られていない？私も初めて知りました。→ブランドになっていない。	【まちづくり推進課】 ◎ご指摘のとおり単年単発となっており、ブランド化を試みているものの定着化していない現状となっています。今後は取り組んだ内容に対し、成果を検証するなどフォローアップへの取り組みを行ってまいります。
		田畑	①本事業を利用した事業者に対しての、事業結果アンケート調査や聞き取り、アフターフォローなどを行い、次期へ向けた方向性や展望を決定してはどうか？ ②既存事業者だけでなく、新規参入事業者への実績を増やす方策はないものでしょうか？	【まちづくり推進課】 ①ご指摘のとおり、利用した事業者から、成果や課題を把握した上で、今後の展望などフォローアップできる体制になるよう検討してまいります。 ②町広報誌やHP以外においても、各課のチャンネルを活用し幅広く周知の徹底につなげてまいります。
3	ふるさと納税特典品の充実	田畑	◎返礼品事業者数は、頭打ちとなっているものの、返礼品数は、伸びているので、今後の展望通り実施してほしい。	【まちづくり推進課】 ◎返礼品事業者数及び返礼品数が頭打ちとなる中、新たなポータルサイトとの契約など新たな体制や仕組みづくりに努めてまいります。

事業 No.	事業名	委員名 (敬称略)	意見・要望・質問等	町の回答等
4	各種物産展、 イベント等でのPR	古地	◎セントレアや赤レンガなどで行われた物産展での売上高、あるいはどの商品が消費者に受け入れられたのかなどのデータがあると成果がイメージしやすいでしょう。	【産業振興課】 ◎セントレアについては、町が仕入れをして販売しているため売上を把握していますが、赤レンガ等については、各出店者が個々にエントリーしていることから売上を把握しておりません。セントレアでの売上データについては別紙のとおりとなっております。
		久米	◎もっと近場からPRをしていた方が良いと思う。(首都圏で道南をPRしていた観光担当時代、知名度の低さを肌で感じた。札幌はもちろん、函館の人も江差がどういうマチなのかを知らない人が思っていたより多い)	【産業振興課】 ◎現在、近隣の市町との連携を含め、みらい機構と協議を行っております。
		田畑	◎実績は、大変評価できると思います。参加事業者に対する、事業結果アンケート調査や聞き取り、アフターフォローなどは、行っていますか？その結果についての考察を、今後に向けて活用してもらいたい。	【産業振興課】 ◎ご指摘の通り、今後は出店者へのアンケート調査等を実施し、事業のフォローアップに努めてまいります。
5	ぷらっと江差の充実	久米	◎よく耳にする意見としては、「閉店時間が早い」ということ。仕事が終わったあと、食材を買いに行くことができないので、なかなか足が向かないという意見が多い。開店時間を遅くしてはどうか。	【追分観光課】 ◎店舗を運営するみらい機構へ打診した結果、試験的に閉店時刻を延長して、需要の可能性を探るためにも、今後、営業時間の在り方について検討してまいりたいとの回答をいただいております。
		藤島	◎入客数をレジ枚数でカウントしていると思いますが、玄関あるいはコーナー上部にカウンター(客数カウント)を設置する方がベターと思う。(厚沢部の道の駅で取り付けたところ、四倍の入客数となったそうです。)	【追分観光課】 ◎みらい機構と開陽丸青少年センターの共同により、今年の6月から実施しております。

事業 No.	事業名	委員名 (敬称略)	意見・要望・質問等	町の回答等
		田畑	◎江差町都市計画マスタープラン及び立地適正化計画に従い、今後のあり方を決定してほしい。	【追分観光課】 ◎ご意見とおり、両計画をはじめとした、まちづくり全体の中で今後のあり方を検討してまいります。
6	ぷらっと江差等PR	久米	◎事業No.5と同じ	—
		田畑	◎各施設トイレなどにA4版の張り紙があるが、他の観光施設にも貼ってありますか？ (文化会館、追分会館、山車会館、旧郡役所、etc)	【追分観光課】 ◎役場、道の駅、町会館のトイレに掲示していますが、追分会館については、指定管理者側も物販をしている関係で掲示していません。過去には、木古内の道の駅にも置かせていただいた経過があります。

[具体的な施策：②地域資源の生産力強化]

■主な取組名：農地の集約・流動化の推進・栽培業の推進・未利用低利用資源の有効活用・新規振興作物の研究

事業 No.	事業名	委員名 (敬称略)	意見・要望・質問等	町の回答等
7	農地流動化促進補助創設(H29)	田畑	①目標集積率は、何%でしょうか？ ②この目標値に近づけるには、新規就農者の購入が必要と考えますが、その方策はあるのでしょうか？	【産業振興課】 ① R3年度末時点で、70%を目標としております。 ② 当該補助制度については、町内在住の担い手農業者への農地の集積・集約化を促進するものであり、新規就農者のみを対象とした制度ではありません。ただ、H26年度を最後に現在まで、新規就農者がいない状況です。このため、本補助制度による、新規就農者に対する補助単価の増額のほか、国の農業次世代人材投資資金(旧青年就農給付金)等を活用し新規就農者の確保に努めてまいります。
8	ナマコ、アワビ等栽培漁業の推進	古地	①アワビの放流が漁獲と結びついていない理由は何でしょうか。	【産業振興課】 ① 出漁数の減少が主な原因です。アワビ漁は好条件でなければ出漁できていない状況で、2～3日、風が続くような日でなければ、濁りが取れず、見えないと言われております。

事業 No.	事業名	委員名 (敬称略)	意見・要望・質問等	町の回答等
			②放流から漁獲にタイムラグがあることはわかっておりますが、放流している水産物の放流量と漁獲高の推移が分かるグラフがあるとイメージしやすいと思います。	②別紙のとおり
		田畑	◎本事業の各種種苗別における費用対効果（累積額）は、どのような推移となっているのか、不明確です。	【産業振興課】 ◎別紙のとおり
9	江差産ニシン 活用促進対策 事業	古地	◎確保したニシンの活用量（事業者数）の推移や売上高に関するデータがあると事業の成果をイメージしやすいと思います。	【産業振興課】 ◎H29年度産ニシンについては、生ニシンのほか、糠ニシンや甘露煮など、加工品の販売を行いました。H30年度産ニシンは取扱店を指定し、取扱店に生ニシンを販売、取扱店において生ニシン・加工したニシンを販売しております。手法を変更したことにより、事業者数や売上高の推移に関するデータ化が困難となっておりますのでご理解ください。
		庄司	◎水揚量に左右されるのは理解できるが、江差＝いにしへのニシンで繁栄→ということをもっとアピールし、他にない独自性をたてられないか？	【追分観光課】 ◎日本遺産のストーリーや考え方を前面に出しアピールしていきたい。「食」という観点では、町が確保した江差産ニシン1.5tについて、政策的に安価にしながら町内で食することができる環境を整えており、既に2/3の販売を終えています。ぷらっとえさしてもニシンそばを江差産ニシンで提供していますし、4月の道の駅オープン時とニシンのぼりのイベント時にはニシンの唐揚げを来場者に食べていただきました。また、現在みらい機構が地域事業所と連携しながら「ニシンまん」を試作しておりぷらっとえさしでの販売を目指しております。
10	ブリ等の活 技術確立のた	古地	◎活による市場販売価格の	【産業振興課】 ◎ブリ（大型）の販売は、62

事業 No.	事業名	委員名 (敬称略)	意見・要望・質問等	町の回答等
	めの水産物高付加価値化対策支援 (H28)		変化を示すデータ(価格の推移など)があると「高評価」をイメージしやすいと思います。	kg、104千円、kg単価は1,677円。サクラマスの販売は、277kg、522千円、kg単価は1,884円で、いずれも野の2～3割ほどの高値で取引されております。(※H30年4～6月実績)
		田畑	◎予算及び決算に金額記載なし。予算付けできることは、ないのでしょくか？	【産業振興課】 ◎北海道の日本海漁業振興緊急対策事業を活用し支援を行ったものです。設立した活鮮魚販売部会内の収支により対応が来ていることから、現段階で支援は必要ないという判断です。
11	ワカメ・コンブ・ホヤ活用試験事業 (H29)	古地	◎ワカメの芽落ちについて具体的な対策はあるのでしょうか。あればご教示ください。 ◎ホヤの出荷時期はいつ頃になるのでしょうか。	【産業振興課】 ◎関係機関を含め協議を行っておりますが対策については見出せていない状況です。 ◎R4年7月の出荷を目指し、適正試験を行っております。
		田畑	◎予算及び決算に金額記載なし。予算付けできることは、ないのでしょくか？	【産業振興課】 ◎北海道の日本海漁業振興緊急対策事業を活用し支援を行ったものです。現段階で、支援するものはないという判断です。
12	アスパラガス伏込栽培実証試験事業	古地	◎農業者から「所得向上よりも体を休める休息期間が欲しい」との声があるようですが、これは農家の高齢化によるものでしょうか。それとも人手不足によるものでしょうか。 ◎アスパラの売上高もしくは収益力はどのくらいなのでしょう。具体的な数字や、他の品目と比較できる数字があると、この事業を続けるかどうか判断しやすいと思います。	【産業振興課】 ◎農家の高齢化により担い手への農地の集積が進んでおりますが、家族経営が主であり、農作業量が増加したため冬季間は体を休めたいとの意見でした。 ◎道南地域の立茎アスパラガスの収穫時期は3～5月、7～9月であり、10～2月はその端境期となるため、伏込栽培で収穫できると高単価での出荷が見込まれるものです。人件費・光熱水費を差し引いた所得はハウス1棟で1年目約▲20万円、2年目約30万円(ハウス設置代金含まず)の所得の試算で

事業 No.	事業名	委員名 (敬称略)	意見・要望・質問等	町の回答等
		田畑	◎この事業もそうだが、イチゴ栽培事業など、他事業に関してのフォローアップとその予算措置が脆弱と思います。	す。 ◎町では、重点振興作物として立茎アスパラ・ブロッコリーを、地域振興作物としてイチゴを含む野菜類を「江差町水田フル活用ビジョン」で位置づけているところです。 「年度ごと成果調査シート」には記載がありませんが、産地生産力強化総合支援事業として、種苗・たい肥・培土・土壌改良剤の購入助成や、かん水・土壌診断経費の助成を行っており、経営所得安定対策（産地交付金）においても措置を図っています。情勢を踏まえながら、今後にも必要な予算措置を図っていく考えております。

[具体的な施策：③経営安定化対策]

■主な取組名：農業機械、漁具等購入費用への助成・共済掛金等への助成・農漁業経営体の組織化の推進・商工業経営基盤安定化対策の推進

事業 No.	事業名	委員名 (敬称略)	意見・要望・質問等	町の回答等
13 15	農業機械購入費用助成 農業共済制度加入補助	田畑	◎漁業の助成・補助額よりも過小と思われますが、その根拠は何でしょうか？	【産業振興課】 ◎漁業と比較すると、農業共済制度加入補助の補助額総額及び1件当たり平均補助額が漁船保険掛金補助よりも少なくなっていますが、農業機械購入費用助成は漁具等購入費用助成よりも多い金額となっています。今後進んでいく基盤整備による農地の大区画化に伴い、スマート農業に対する支援も必要があると考えています。
17	がんばる商店街等応援補助	田畑	◎農業、漁業に比較して予算措置が脆弱と思います。	【産業振興課】 ◎江差商工会を通じ、各商店街の要望、事業規模に応じた補助を行っております。 また、過去には宿泊施設の改修事業に対する支援も行っておりますが、今後、商店街の維持や活性化を目指した支援策を商工会、商店街と協議の上、検討してまいります。

[具体的な施策：④農林水産業体験ブランド等メニューの構築]

■主な取組名：農林漁業体験メニューの構築

事業 No.	事業名	委員名 (敬称略)	意見・要望・質問等	町の回答等
18	農業体験型市民農園開設支援事業	古地	◎一般参加者が少ないとありますが、その理由はどこにあるのでしょうか。	【産業振興課】 ◎チラシの新聞折込みと過去の参加者への声掛けを実施してきましたが、昨年度は4組7名の参加となりました。食育の観点からも、今年度は広報紙の折込みに加え、町内の小学校・保育園・幼稚園にもチラシ配布を依頼したところです。その結果、小中学生を含めた6組18名の参加となりましたが、まだ少ないと感じています。現在はトイレ等の利用も考慮し、旧朝日小中学校付近のほ場で実施していますが、交通の便や収穫体験以外のメニューなど、ニーズを模索する必要があると考えています。

【基本目標② 江差文化体験交流づくりで仕事をつくる】

[具体的な施策：①江差版DMOの形成・確立]

■主な取組名：北海道江差観光みらい機構の運営強化・観光マネジメント人材の育成・大学等と連携したまちづくり・戦略的観光プランの策定・体験観光メニューの構築

事業 No.	事業名	委員名 (敬称略)	意見・要望・質問等	町の回答等
19	江差町観光まちづくり協議会の設立(H29)	藤島	◎江差ニシンの活用が姿や形が見えてこない。中々むずかしいと思うが、試食会でも開催してはどうか。	【追分観光課】 ◎事業No.9、庄司委員への回答と同じ。
		東野	◎今後の展望として、江差観光みらい機構を中心にしながら、プレイヤー発掘などで体験観光メニューを構築させていくことは評価できるが、他地域との連携による広域観光の視点があってもよい	【追分観光課】 ◎江差町単独で観光客をひきつける力はありません。どうしても近隣町とのつながりで魅力を高めながら、この地を目指していただくことが必要と考えています。主体、あるいは参加としていくつ

事業 No.	事業名	委員名 (敬称略)	意見・要望・質問等	町の回答等
			のではないかと。(例えば、上ノ国町や乙部町等との歴史文化で繋がったツアー造成や奥尻とタイアップしたサイクルツアー造成など)	もの広域観光の推進を図っています。例えば木古内駅活性化、シーニックバイウェイなどは参加で。一方主体的には上ノ国、松前との連携、奥尻と共同でクルーズ船への売り込みなどを実施しています。今後も広域でどんな魅力を出せるかを検討しながら造成へつなげていきたいと考えています。
19 20 21	— DMO推進員の配置（H28～） 北海道江差観光みらい機構の運営強化	田畑	◎巨大ニシンのぼりの活用方針を提示願います。VRの利用推移は、どうなっていますか？また、利用促進するためのPR方策はありますか？	【追分観光課】 ◎「江差の5月は江戸にもない」という日本遺産認定タイトルどおり、毎年5月にかもめ島で掲揚しているほか、昨年は札幌地下歩行空間で掲示しました。また、かもめ島祭りの灯籠イベントでも住民の目に触れる機会をつくり、“江差＝ニシン”というストーリーを根付かせており、今後も続けてまいります。VRに関してです。利用者の推移は別紙のとおり伸びていません。利用促進に関しては、エージェントにもPRしているところですが、ダウンロードをしなければいけない等の課題から進んでいないのが実態です。現在、地元の中学校と授業の中で取り組めるかの協議を進めているところです。
23	大学と市民の活動拠点の整備	田畑	◎道の駅リニューアルは、話題性があり、高評価と思われるが、近隣の道の駅からは、かなり見劣りする。	【追分観光課】 ◎地域住民が作り上げ大切にしている繁次郎像を中心に「地域との協働」を大切にしたい道の駅、また、小さいことをどう逆手に地域資源化できるのかを共に検討し実現した「関係人口」を生み出したと総括しています。現時点では、江差観光のエントランスとして観光客を町中へ送り出す役割です。

事業 No.	事業名	委員名 (敬称略)	意見・要望・質問等	町の回答等
24	“古くて新しいまち江差” 観光戦略書の 策定（H28）	田畑	◎観光戦略書の有効利用が必要では？	【追分観光課】 ◎戦略書は有効に活用すべきであり、その目標像の実現に向けたステップを歩みだしました。戦略書で掲げる5つの方向性について、みらい機構の事業計画に盛り込みながら事業展開しております。
25	体験観光メニューの構築 （江差追分体験、家印づくり、着物でまち歩き）	田畑	◎予算執行後の効果について知りたい。	【追分観光課】 ◎既存体験メニューでの誘客の可能性や価格設定などがどうなのかを確認できました。実際、H30年に値上げした体験メニューもあります。

[具体的な施策：②観光ブランド化の推進]

■主な取組名：歴史文化構想の推進・戦略的情報発信・日本遺産登録を活かした取組強化

事業 No.	事業名	委員名 (敬称略)	意見・要望・質問等	町の回答等
26	江差町歴史文化基本構想の策定（H28）	古地	◎構想に関わる実践行動が課題になっていますが、その原因はどこにあるのでしょうか。また、今後の取り組みのイメージについてご教示いただけると助かります。	【社会教育課】 ◎実践行動が課題となっているとのことですが、中々町民にその活動が見えていないことが原因だろうと考えます。現状の担当職員は1名のみであり、人員不足からやり切れないことも課題となっています。また、取り組みイメージですが、文化遺産を把握して、ストーリー化し、全体として担い手とともに保存・活用策を考えて実践することだと考えます。

事業 No.	事業名	委員名 (敬称略)	意見・要望・質問等	町の回答等
		田畑	◎予算執行後の効果について知りたい。	【社会教育課】 ◎江差町の歴史文化を知ること、保存活用を図ることを主体として、町内全小中学校で「ふるさと発見学習」を展開しています。「江差追分」は全学校で、また郷土芸能については、江差小が「餅つき囃子」、南小は「沖揚げ音頭」「鯨踊り」、江差北中は「土場鹿子舞」を総合学習で実践するなど予算をかけずに子供たちや教員に浸透し効果をあげています。また、町民対象には、「郷土芸能伝承まつり」を2回開催し、郷土芸能の発表機会拡充と保存伝承や後継者育成に努めてきました。
27	都市部等でのプロモーション活動	古地	◎エージェントによる催行予定数が増えているにもかかわらず、応募数が少ないことに関して、エージェント自身からどのような分析をしているのでしょうか。ご存知でしたらご教示ください。	【追分観光課】 ◎エージェントが商品として企画しても、知名度不足の地へお金や時間を費やして足を延ばすという発想になっていないと考えられます。一昨年、クラブツーリズム東京の担当者が姥神大神宮渡御祭を視察。本物の祭り、イベント化していない祭りということで商品を作ったが参加希望が3名程度で中止となった経緯がございます。
		田畑	◎予算執行後の効果について知りたい。	【追分観光課】 ◎関東エージェントで旅行商品を造成する担当者にとって、江差はパンフやウェブ上での知識のみという場合が少なくありません。そういった方々に先ずは知っていただくことが大切でありまして、実際、商品造成をいただいております。また、昨年、函館市などと出向いた函館へ入港するクルーズ船誘致のセミナーで、今年2社が日帰りオプションツアーを企画。トータルでバスが9本入っています。

事業 No.	事業名	委員名 (敬称略)	意見・要望・質問等	町の回答等
28	観光コンテンツの充実	田畑	①日本遺産ポータルサイトの利用頻度の推移を知りたい。 ②VRの利用推移は、どうなっていますか？ ③また、利用促進するためのPR方策はありますか？	【追分観光課】 ①4月 3,626件、 5月 8,083件、 6月 9,412件、 7月 15,698件、 8月 25,085件 (比較:役場HPの8月 14,337件) ②と③は、事業No.19で回答しています
29	日本遺産登録(H29)	田畑	◎商店街で歩いていても、ここが日本遺産のまちであることが実感できていないような気がする。	【追分観光課】 ◎観光客であれば目にする町内の看板11箇所のうち、昨年度にインバウンド対策で英語表記に変えた6か所には日本遺産マークを入れています。既にインバウンド対策がされていた看板については今後入れ込んでまいります。観光関連施設には、H29年度に制作したにしん飾りが飾ってあるのを見ることができます。徒歩の場合、目にするものとして、のぼりなどが考えられますが風の強い地域性などから事業化を見送っています。

[具体的な施策：③広域連携による取組]

■主な取組名：檜山7町と東京都特別区との連携事業・海、山、川！！障がい者が満喫するバリアフリーレジャーと地域づくりの相互連携事業・日本で最も美しい村連合との連携・定住自立圏構想の推進・「えさし」同名自治体連携事業

事業 No.	事業名	委員名 (敬称略)	意見・要望・質問等	町の回答等
30	檜山7町と東京都特別区との連携事業	田畑	◎予算執行後の費用対効果について知りたい。	【まちづくり推進課】 ◎費用対効果は算出していませんが、この事業はH28年度(2016)を基準年としてKPIを設定しており、前年度(H30)までに次の結果となっています。 ■KPI①「道外から檜山管内への観光入込客数の増加・3年後(R1)に193,600人」 ●実績 85,500人増加

事業 No.	事業名	委員名 (敬称略)	意見・要望・質問等	町の回答等
				■KPI②「食と観光フェアと大田区民フェスタでの特産品等販売額の増加・目標額 3年後に4,467千円」 ●実績 1,054千円増加 ※OTAフェア売上額（管内） H29： 464千円 H30： 507千円 ※観光フェア売上額（管内） H29：3,070千円 H30：3,010千円 ■KPI③「滞在型旅行商品の開発件数・目標値 3年後に5件」 ●実績 3件開発
31	海・山・川！！障がい者が満喫するバリアフリーレジャーと地域づくりの相互連携事業	田畑	◎予算執行後の費用対効果について知りたい。	【まちづくり推進課】 ◎費用対効果は算出していませんが、この事業はH28年度（2016）を基準年としてKPIを設定しており、前年度（H30）までに次の結果となっています。 ■KPI①「管内を訪れる障がいのある観光客数の増加・3年後（R1）に466人」 ●実績 2,754人増加 ※開陽丸用品貸出実績 H29： 58件 H30：105件
32	日本で最も美しい村連合との連携	田畑	◎予算執行後の費用対効果について知りたい。	【追分観光課】 ◎残念ながら効果を測定することはできません。ただし、江差のように魅力的な町でありながら、小さくて一自治体では多くの宣伝費をかけることができない連合体でのPRは、効果的と考えています。
33	定住自立権構想の推進	庄司	◎定住する魅力は？？伝わらない！	【まちづくり推進課】 ◎現在、檜山の地域性や特色、各町の移住の取り組みを紹介する「北海道檜山地域の移住・定住ガイドブック」を作成中です。檜山地域の認知度の底上げを図り、移住促進を図るための情報発信に努めてまいります。

事業 No.	事業名	委員名 (敬称略)	意見・要望・質問等	町の回答等
		田畑	◎各年度の事業内容がよくわからない。縛りのゆるい特別交付金なのでしょうか？	【まちづくり推進課】 ◎定住自立圏構想の意義は、中心市（函館市）と近隣市町村が相互に役割分担し、連携・協力することにより、圏域全体として必要な生活機能等を確保する「定住自立圏構想」を推進し、地方圏における定住の受け皿を形成することです。定住自立圏に取り組む市町村に対する支援として特別交付税1,500万円（上限額）が財政措置されています。事業内容の詳細については、第2次南北海道定住自立圏共生ビジョン（2019年度～2023年度までの5年間の計画を参照してください。（町HP⇒函館市HPへ）
34	「えさし」同名自治体連携事業	田畑	◎予算執行後の費用対効果について知りたい。	【まちづくり推進課】 ◎H28年度よりお互いの特産品を販売する物販を中心に事業を展開してきました。R1年度は、スポーツイベント交流事業として、オホーツク管内枝幸町へ江差フェニックス野球少年団を派遣して地元野球少年団と交流戦を行うなど人的交流も行いました。予算執行にあたっては、北海道市町村振興協会（いきいきふるさと推進事業助成金）をH30年度より活用し、両町の魅力発信や産業振興、人材育成など地域活性化の促進に繋げ、行政のみならず民間主導含めた地域間交流へと発展途上にあります。

[具体的な施策：④受入環境等の整備]

■主な取組名：交流、賑わい拠点の整備・宿泊施設の拡充、魅力向上・民泊制度の活用促進・北海道新幹線等と連結した二次交通やアクセス等の整備・インフォメーション機能の充実

事業 No.	事業名	委員名 (敬称略)	意見・要望・質問等	町の回答等
35	北の江の島構 想 策 定 (H29)	田畑	①ホームページに掲載されている構想では、現在の市場との関連性が無く、中途半端と思います。国道取付け部周辺の整備やバスターミナルと併せて、観光みやげ品、農産品、鮮魚、活魚などを盛り込んだ店舗や、観光客・町民が利用できるレストラン、温泉施設を構築していただきたい。 ②現在の開陽丸研修センター（海の駅）は、施設的には雨漏れ修繕程度が必要であり、増築の必要性はないと考えます。 ③屋外芝地に子供たちの遊具設置を希望。	【まちづくり推進課】 ①皆様からの意見をいただきながら、様々な角度から検討したいと考えております。 ②アンケートでは、子供たちが屋内で遊べる場所がほしいという回答があったので、研修センターを増築すること考えられます。 ③子供たちの遊び場として、屋外遊具を検討してまいります。
36	江差マリンス ポーツ交流セ ンターの整備 ※簡易宿泊可 能	古地	◎「誘客のための情報発信が弱い」とありますが、それは従業員の資格も含めてセンターの体制が整っていないからでしょうか。他に理由がありますか。	【まちづくり推進課】 ◎今年度については、マリニアクティビティ体験メニューの確実な実施を優先して取り組んできましたが、並行して行うべき誘客戦略（旅行業者や学校へのPR、Webや報道を活用した周知、リーフ作成配布等）については、初の体験メニューということもあり安全体制や用具準備等に時間を費やし、取組みが不十分となりました。今年度の経験と反省を生かして、来年度は効果的な情報発信を行ってまいります。

事業 No.	事業名	委員名 (敬称略)	意見・要望・質問等	町の回答等
		庄司	◎利用されているのか？何人利用？箱ものは必要あるのか？それ以外に人もお金も投入すべきでは？	【まちづくり推進課】 ◎本施設はH30年3月完成し、翌5月に簡易宿泊業登録し受入可能となりましたが、誘客戦略の取組不足等からH29年度・H30年度とも利用実績がございませんでした。本年度は9月末までに1組1名に利用いただいております。今後、宿泊を絡めたマリンアクティビティを商品化し旅行業者のPRを行うとともに、ヨット大会合宿等の誘致に努めてまいります。情報発信については、みらい機構と連携し効果的な取組を検討します。また、バナナポートやクルーズ体験等、マリンアクティビティ体験メニューの充実を図るため船舶免許資格所有者の複数人配置を進めながら、必要資材の拡充も検討してまいります。
		田畑	◎予算執行後の効果について知りたい。活用実績は、どうなっていますか？	【まちづくり推進課】 ◎活用実績については前回答のとおりですが、マリンアクティビティ拠点ができたことによって、春～秋まで通してできる体験メニュー（シーカヤック・SUP）が誕生しました。イベント時は、バナナポートやクルーズ体験も実施できるようになりました。このことによって、今年度9月17日現在では、無料体験で延べ351名、有料体験で2名の方に利用いただきました。今後、事業を継続していくことによって、鷗島を核とした人と経済の循環に、有効な方策となり得るものと考えます。
	江差町まちづくり推進交付金創設（宿泊施設整備促進事業）	久米	◎何をするにも「宿泊施設が足りない」というのはネックになっていたことなので、どうかこの事業がうまくいけば良いと思う。（新しい宿が	【まちづくり推進課】 ◎宿泊施設の誘致については、長年の懸案課題でしたが、この度、町内事業者から、新たに簡易宿泊所建設計画に対する当交付金への申請があ

事業 No.	事業名	委員名 (敬称略)	意見・要望・質問等	町の回答等
			できたからといって、宿泊客はその宿だけに泊まらないと思う。それぞれの宿が個性や魅力作りをすべきと思う。)	り、本年9月定例会で当該予算が議決されました。今回の計画で特に注目すべき点は、イベント時やインバウンドを意識した事業計画となっております。既存の宿泊事業者の営業形態に加え、新たなチャンネルが増えることで来訪者の選択肢が広がり、マチ全体として個々のケースに応じた宿泊サービスの提供が可能となり、更なる江差町の魅力向上が図られる中で、既存の宿泊事業者への波及効果を期待しています。
		田畑	◎H31年度1件のみで、事業終了することには懸念。今後も事業継続することを強く要望します。その場合でも補助率2/3は変更してはならない。	【まちづくり推進課】 ◎H28年度に創出したまちづくり推進交付金については、現時点の見込みでは1件で事業が終了します。今後の事業継続や補助率等の制度設計については、次期総合戦略の策定と合わせて方向性を協議してまいります。
39	宿泊施設観光サービス向上事業	田畑	①H27年度の1年で終了したのは、なぜでしょうか？ ②課題・今後の展望にコメントが無いのはなぜでしょうか？	【追分観光課】 ①事業を1年で休止したのは制度設計が観光客、宿泊業者両者にとって課題が多かったもの。今後、宿泊施設との意見交換の中で行政とどんなタッグを組むのがベターかを確認しながら今後の支援策を検討します。 ②課題と展望についてコメントがないのはお詫びいたします。 ○課題 ・設備近代化の遅れ ・クレジットカード対応の遅れ ・後継者難 ○展望 ・多くの宿は工事関係者の受け入れで経営している現状で、今後しばらくはこのまま推移が想定される。

事業 No.	事業名	委員名 (敬称略)	意見・要望・質問等	町の回答等
42	観光施設の多言語観光案内版・誘導表示等の作成（江差追分会館・江差山車会館、旧中村家住宅、旧関川家別荘、旧檜山爾志郡役所、海の駅開陽丸）	庄司	◎大切だと思う。横山家は？	【追分観光課】 ◎多言語化は必須だと考えます。個人所有であり種々協議が必要ですが、活用の方性向性がはっきりし施設に何らかの手が入る時点で多言語化は並行しなければいけないと考えています。
42 44	外国人観光客の誘客のためのWebページ多言語化	田畑	◎インバウンドの来場実績の推移が知りたい。	【追分観光課】 ◎実数として把握できる宿泊客数は次のとおりです。 ・年度→宿泊人数（延宿泊人数） H24→ 26（42）、 H25→ 22（40）、 H26→ 40（44）、 H27→ 78（87）、 H28→127（141）、 H29→121（121） ※H30はデータが取れていません。

【基本目標③ 江差っ子チャレンジ支援で仕事をつくる】

[具体的な施策：①若者チャレンジ支援]

■主な取組名：創業、起業支援・若者交流促進事業への支援・江差こども未来応援プロジェクト

事業 No.	事業名	委員名 (敬称略)	意見・要望・質問等	町の回答等
46	江差町まちづくり推進交付金創設（空き店舗等再生促進事業）	古地	◎自己資金を投入することへの不安などを解消する仕組みは何か考えておられますか（ビジネスに関するコンサルティングやフォローアップなど）。	【まちづくり推進課】 ◎ハード系の事業として、空き店舗等を活用して起業・創業する場合は、300万円を上限として1/2以内の交付金を交付しています。また、ソフト系事業として、店舗の賃借料については、月額10万円を上限として2/3以内の交付金を交付しています。上記から自己資金を投入することの不安を解消する一助になっていると考えますが、必

事業 No.	事業名	委員名 (敬称略)	意見・要望・質問等	町の回答等
				要に応じてコンサルティングやフォローアップについて、検討してまいります。
49	まちづくり人材育成プロジェクト	古地	◎子どもたちの発想を引き出しきれていないとありますが、この課題を克服するための仕組みを何か考えておられますか。	【高齢あんしん課】 ◎大人が主導のグループワークという場では、多少の意見は出しながらも子どもたちが自由に発言することがしづらいという課題が明確になりました。次年度以降は、話し合いという場面と併せて大人と協働で行う動きのある場面設定を企画し、大人も子どももフラットな立ち位置になる仕掛けを盛り込み、両者が互いに伝えあえる関係性の構築を目指していきたいと考えております。

[具体的な施策：②若者等のU I Jターンの促進]

■主な取組名：地域おこし協力隊等の活動支援・企業、ハローワーク等との連携

事業 No.	事業名	委員名 (敬称略)	意見・要望・質問等	町の回答等
50	地域おこし協力隊の募集	田畑	◎予算執行後の費用対効果について知りたい。各隊員の活動実績は、どのように管理されていますか？	【まちづくり推進課】 ◎各隊員の活動実績については、活動調査や活動日誌への記録、面談の実施、活動報告会を開催し管理しました。面談などは、ここ数年実施出来ていないことから、適宜開催してまいります。
51	就職活動応援「じもと×しごと発見フェア」(道企画)への協力	庄司	◎企業展示会のみならずインターンシップの積極的仲介は？	【産業振興課】 ◎主催者の檜山振興局商工労働観光課と協議し、インターンシップについて、町内の企業、学校等の要望を把握しながら検討してまいります。

[具体的な施策：③移住・定住対策（住環境整備等）]

■主な取組名：住宅リフォーム助成・空き家、空き店舗バンク登録制度・未利用町有地の有効活用

事業 No.	事業名	委員名 (敬称略)	意見・要望・質問等	町の回答等
52	住宅リフォーム助成	古地	◎今後の展望で述べられているように、継続の有無を検討する際には、この事業の目的がどこにあるのかを考え直す必要があるように思われます。	【建設水道課】 ◎この事業の目的は、移住施策ではなく、地域の消費喚起・生活支援であったことは理解をいただきたい。移住施策として制度を考えるのであれば、空き家対策を含めた別の制度設計が必要になると思われます。
56	公有地購入促進奨励金等交付制度（H27創設）（H30改定）	田畑	◎若年者や、起業者に土地を賃貸できるように変更することも考えてみてはどうでしょうか？現状では、人口が増加しない限り購入者は現れないと思います。	【財政課】 ◎他団体の事例や貸付の場合のメリット・デメリットなどを調査・研究し、検討してまいります。

[具体的な施策：④子育て環境の充実]

■主な取組名：子育て世代への経済支援—おむつ代、学校給食費助成—・子育てサポート体制の充実—学童保育の拡充等—・安心して子どもを出産できる環境づくり・医療体制の充実（医療従事者の確保等）

事業 No.	事業名	委員名 (敬称略)	意見・要望・質問等	町の回答等
57	子育て応援券の交付（おむつ等）	古地	◎課題において、効果に関する疑問が呈されており、改めてこの事業の目的とその効果について検討する必要があると思われます。	【健康推進課】 ◎現在、事業対象者へのアンケート調査を実施し、評価・分析を行う予定であります。
57 58 59 60 61	— 学校給食費助成（小中学校） 第3子以降の保育料無償化（保育園） 幼児教育・保育の無償化（保育園） 第3子以降の保育料無償化（幼稚園）	庄司	◎ここまで充実していることをもっとPR、広報すべき。移住定住を進めるにあたってとても重要！内容は素晴らしい！	No.57,62【健康推進課】 ◎町ホームページや子育て情報誌で周知していますが、さらに効果的な周知方法について検討してまいります。 No.59,60【町民福祉課】 ◎産前から子育て期まで切れ目のない環境を整えることが重要であると認識しており、無償化や給食費の助成に関わらず、これらが一体となった子育て支援策の一覧などを作成し、町広報や町HPなどで情報発信してまいります。

事業 No.	事業名	委員名 (敬称略)	意見・要望・質問等	町の回答等
62	子供の医療費 助成			No.58,61【学校教育課】 ◎子ども子育て施策として関係課と連携し、PRしたいと考えております。
65	道立江差病院での第1子分娩可能になるよう札幌医大への要請行動	庄司	◎江差出身の医療従事者をUターンさせる施策は？	【健康推進課】 ◎現在、医療従事者をUターンさせる施策は行っておりません。医療従事者のみならず介護従事者等専門職不足は地域課題の一つであります。Uターン施策については今後検討してまいりたいと考えております。
66	道立江差病院常勤医師に対する医師研究資金貸与事業の実施			
67	看護師等育成確保対策			

■全体を通して

事業No.	委員名 (敬称略)	意見・要望・質問等	町の回答等
9,12,13,15,17,37	田畑	◎継続希望（No.37は強く要望します）	◎要望意見として承り、対応については今後検討させていただきます。
14,16,18,22,40,41,43,45,46,47,48,49,52,53,55,58,59,60,61,65,66,67	田畑	◎課題、今後の展望について同意見です。	—

2 その他

委員名 (敬称略)	ご意見等	町の回答等
古地	◎このような資料を作成いただき、ありがとうございました。総合戦略の取り組みと成果が以前よりもだいぶとらえやすくなっていると思います。具体的に出ている成果については、写真・グラフ・イラストなどを使って、よりわかりやすく可視化できれば、町民にもイメージしやすいと思います。以前も申し上げましたが、5年間の取り組みと成果をわかりやすい形で町民に示せるような媒体が作れると良いですね。	【まちづくり推進課】 ◎取り組みの「可視化」というご提言、誠にありがとうございます。町民や各審議会、委員会等からいただきました貴重なご意見・アイデアを採用し実現した姿形を、広報紙やWeb、リーフ等の媒体を活用してお知らせすることが、“自分達ごとのまちづくり”を実感していただくことにつながっていく、そのことが町政への信頼にもつながっていくといった趣旨のご提言と理解しました。現行総合戦略が終わった来年度に、概要版リーフ等作成することを検討しています。
久米	①全体的に、町民に対する「取り組みの見える化」を図っていった方が良いと思う。（事業についてもそうだが、どのような人たちが検証委員に関わっていて、等。その方が、マチの人の声がたくさん聞こえてきて、自分の意見と合わせて考えてできると思う。） ②都市部から人を（観光客）を呼び込むことについて、そのような方たちは、突然江差のみを訪れるわけではなく、函館～北斗～厚沢部とか、木古内～上ノ国～江差、と巡るので、近隣の町と連携したコース作りも必要になると思う。	①【まちづくり推進課】 取り組みの「可視化」については、前回答と同じですが、ご意見のとおり、町が委嘱（諮問）した委員の方々につきましては、町民に対しても委員ご本人にしても大切な情報となり得ますので、機会あるごとに紹介してまいりたいと考えます。 ②【追分観光課】 事業No.19、東野委員への回答と同じです。
庄司	①江差は素敵な町です。道内でも限られた歴史を誇る町です。しかし、その素晴らしさが、札幌の人々、東京の人々に認知されていません。もったいないです。限られた予算、人員で何をすべきか？正しい答えはわかりませんが、絶対に良い方法はあるはずで。中でも真の本物！横山家が心配です。 ②江差にしかない“横山家”はその後？？？	①【まちづくり推進課】 観光目的のみならず、関係人口の創出・拡大が今後のまちづくりにおいて大事な取り組みとなります。そういう意味でも、都市部の方々に関心をもってもらえるような情報戦略の強化がますます重要となりますが、まずもって「情報戦略」について学ぶことから始めていかなければなりません。 ①後段、②【社会教育課】 昨年、当主である横山敬三氏が亡くなり、休館となって1年以上経過していることは事実であります。しかし、その間、相続者の代表で敬三氏のお兄さんと7回ほど面談し今後の方策を協議してきました。横山さんの考え方は、「国の重文登録をしてほしい」「公的機関で維持管理してほしい」「町のプランを示してほしい」との要望でした。江差町としては、「所有者が横山省二氏（敬三氏の父）のままであ

委員名 (敬称略)	ご意見等	町の回答等
		るため、「所有者変更手続きを進めてほしい」「相続手続きを進め、所有権移転手続きを行ってほしい」と要望してきたところです。また、観光シーズンだけでも開館できないかと協議もしてきましたが、防犯上の問題などで開館はできないとの回答をいただいています。ただ、江差の文化財として横山家の重要さは十分理解しておりますし、保存に向けて全力を傾けたいとの思いは変わらないので、引き続き、横山さんと協議を重ねてまいりたいと考えております。
紺井	戦略『北前文化を伝えるまち“江差”ならではの仕事づくり』 ①戦略を実現する具体的なプレイヤーは誰か？（地元の方が全部やるのか？外部の力は？） ②江差町の産業基盤は何か？その強化で売れる製品」づくりにはただ補助金を出すだけなのか？ ・一次産業～環境に対応し持続安定的に生産できるのか？どこをターゲットとして売れる製品を作るのか？ ・二次産業～何の加工ができるのか？一次産業を生かせるのか？	①【まちづくり推進課】 国の地方創生有識者会議は、「地方創生は、国、地方自治体、起業、地域住民の全てが自分事として捉え、全員がメインプレイヤーとなって官民が連携して、また、それぞれが主体的に取り組み実現すべきものである。」と提言しております。このことは当町におきかえても同じと考えており、さらに地元中高生のほか函館市大学生も含めて、外部有識者・外部関係者の力もいただきながら、現行総合戦略に掲げる各種施策を進めていきたいと考えております。多様な主体が、積極的にまちづくりに参画する気運の醸成と仕組みづくりが必要であると考えます。 ②【産業振興課】 ・一次産業（農務） 「売れる製品」として、一次産業では農産物単体のブランド化、二次産業では農産物を加工することで付加価値を付ける方法があると考えます。 ブランド化では馬鈴薯は「厚沢部のメークイン」として出荷、いちごは「グリーンネット恵」が「江差追分を聴いて育ったいちご」として加工商品の商品開発を行っており、ふるさと納税返礼品にも採用されています。 ・二次産業 現在の江差町における加工産業は脆弱で、漁業者家族などによる小規模加工や農業女性団体による加工品の生産販売が

委員名 (敬称略)	ご意見等	町の回答等
	・三次産業～平時で利用するサービスは足りているのか？ 観光＝非日常で利用するサービスは持続可能で提供できるのか？ ③江差文化体験交流づくりで仕事をつくる とは、第一義には観光に力を入れること なのか？（江差追分をさらにブラッシュ アップさせるのか。埋もれている歴史を もっと掘り起しストーリーを作るのか。 サイクリング等新しい文化との融合等） 繁次郎、官軍、交易、アイヌなどのキー ワードで複数のストーリーを作る必要 は？ ④金融機関の機能を利用することも必要で はないか？→外部との連携の接着剤機 能、磨き上げや商談会等出口施策の活用、 など	主となっております。 漁業者によるナマコの加工品の試作販売 などの取り組みも注目されております。 今後も関係者と協議し、より多くの商品 開発と、販路の拡大に向け、支援協力を 努めてまいりたいと考えております。 ・三次産業 近年、三次産業についても人口減少や高 齢化などにより、後継者となる担い手不 足が深刻化しており、飲食料小売店や旅 館業等が減少を続けています。 その対策として、H27年度より３年間 「宿泊施設改修補助」を行い、誘客促進 に一定の効果があったと認識していま す。 今後は、飲食店や小売店についても、「が んばる商店街づくり支援事業」等、商店 街のにぎわいを再生し、個々の店舗の魅 力を向上させるための施策を関係課と協 議のうえ進めてまいります。 ・三次産業後段【追分観光課】 施設見学以外、江差を目的地として望ま れる方々の「非日常のサービス」がどう いったものなのかは現在も手探りです。 みらい機構の業務の中で模索し少しずつ 形作ることを目指します。 ③【追分観光課】 総合戦略に据えている基本目標の一つで あり、既にみらい機構を立ち上げ「体験 観光」「情報発信」「物産販路」の事業を 手掛けています。 私たち行政側と連携しながら新たな食や 体験のメニューを着実に固めながら情報 発信し江差に誘う仕組みに力を入れています。 ④【産業振興課】 創業支援事業や中小企業融資事業におけ る連携のほか、年に２度程、町内の金融 機関と懇談会を開き、情報交換等を図っ ておりますが、より一層連携を深めてま いります。

以上。